

2017 年 3 月 8 日

## 第 12 回 博報財団「国際日本研究フェローシップ」 招聘研究者決定

博報財団(公益財団法人 博報児童教育振興会)は、第 12 回「国際日本研究フェローシップ」の招聘研究者を決定しましたので、本日発表いたします。

### ■ 招聘研究者

厳正なる審査の結果、8 ヶ国(アメリカ、イギリス、ウクライナ、韓国、台湾、中国、ドイツ、フランス)より、日本語・日本語教育研究分野 5 人、日本文学・日本文化研究分野 9 人の合計 14 人の研究者が選出されました。招聘研究者の詳細は、添付資料の一覧をご参照ください。

### ■ 招聘研究期間

2017 年 9 月 1 日～2018 年 8 月 31 日 \*長期(1 年間)または短期(6 ヶ月間)どちらかの招聘期間です。

### ■ 受入機関

下記のいずれかの研究機関の協力を得て、研究を行います。

国立国語研究所  
国際日本文化研究センター  
国際交流基金日本語国際センター  
お茶の水女子大学  
京都大学  
東京外国語大学  
立命館大学  
早稲田大学

### ■ 博報財団「国際日本研究フェローシップ」とは

本フェローシップは、海外で日本語・日本語教育・日本文学・日本文化に関する研究を行っている優れた研究者を日本へ招聘し、滞在型研究の場を提供することで、世界における日本研究の基盤をより充実させ、日本への理解を深めることを目的としています。詳細は、下記のホームページをご覧ください。

※ 博報財団「国際日本研究フェローシップ」とは

<http://www.hakuhofoundation.or.jp/program/tabid/153/Default.aspx>

※ 第 12 回招聘研究者一覧

<http://www.hakuhofoundation.or.jp/program/tabid/154/Default.aspx>

博報財団(正式名称:公益財団法人博報児童教育振興会)は、1970年、株式会社博報堂の創業75周年記念事業として設立されました。新公益法人制度の施行に伴い、2011年4月に公益財団法人として認定され、現在に至ります。次代を担う子どもたちの豊かな人間性の育成のために、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成事業」「国際日本研究フェローシップ」「世界の子ども日本語ネットワーク推進事業」など、「ことば」「文化」の領域を中心に児童教育の支援につながる活動を行っています。

◇ 公式ホームページ <http://www.hakuhofoundation.or.jp/> ◇

### 【本件に関するお問い合わせ先】

博報財団「国際日本研究フェローシップ」事務局 (株)イーサイド内  
TEL. 03-6435-8140 / FAX. 03-6435-8790  
E-mail. [ip-office@hakuhofoundation-ip.jp](mailto:ip-office@hakuhofoundation-ip.jp)

【添付資料】

第12回「国際日本研究フェローシップ」招聘研究者一覧(14人) \*敬称略

◆ 研究分野:日本語・日本語教育研究(5人) ※一覧は、研究分野別に招聘研究者の姓50音順で表記しています。

招聘研究者	研究題目	在住国	招聘期間	受入機関
王 世和 (オウ セイワ)  東呉大学 日本語文学系 教授	文脈重視の日本語教育文法の研究 - テイルの用法を例に -	台湾	【長期】 2017年9月1日～ 2018年8月31日	国立国語研究所
OBERWINKLER Michaela Marianne (オーバーヴィンクラー ミハエラ マリアンネ)  テュービンゲン大学 アジア地域文化研究所 日本学科 研究協力者	文字による新たなコミュニケーション - SNS 言動行動の特性分析 -	ドイツ	【長期】 2017年9月1日～ 2018年8月31日	立命館大学
野田 真理 (ノダ マリ)  オハイオ州立大学 教授	外国人による日本語弁論大会 - 半世紀の受賞者スピーチから探る弁論 の形、日本に向ける視点 -	アメリカ	【短期・後期】 2018年3月1日～ 2018年8月31日	早稲田大学
PIZZICONI Barbara (ピッツィコーニ バルバラ)  ロンドン大学 アジア・アフリカ研究学院 准教授(日本語応用言語学)	日本語の待遇表現についての言説	イギリス	【短期・後期】 2018年3月1日～ 2018年8月31日	立命館大学
黄 永熙 (ファン ヨンヒ)  漢陽サイバー大学 日本語学科 助教授	第二言語としての日本語の再構成メカニズ ムに関する縦断的研究 - 韓国人帰国児童を対象として -	韓国	【短期・前期】 2017年9月1日～ 2018年2月28日	お茶の水女子 大学

◆ 研究分野:日本文学・日本文化研究(9人) ※一覧は、研究分野別に招聘研究者の姓50音順で表記しています。

招聘研究者	研究題目	在住国	招聘期間	受入機関
KITSNIK Lauri (キツニック ラウリ)  セインズベリー日本藝術研究所 ロバート&リサ・セインズベリーフェロー	日本映画におけるシナリオの理論と実践	イギリス	【長期】 2017年9月1日～ 2018年8月31日	京都大学
COOK Ryan Marshall (クック ライアン マーシャル)  エモリー大学 映画・メディア学/東アジア学科 助教授	日本映画を通じた1960年代の考察 - イメージ及び記憶としての昭和30年 代 -	アメリカ	【長期】 2017年9月1日～ 2018年8月31日	立命館大学
SASTRE Gregoire Simon Jean (サストル グレゴワール シモン ジャン)  東亜文化研究センター 博士研究員	日本軍の情報機関の創立とその影響 (1870-1918)	フランス	【長期】 2017年9月1日～ 2018年8月31日	早稲田大学

(前ページからつづく)

招聘研究者	研究題目	在住国	招聘期間	受入機関
<b>ZAHLTEN Alexander Nikolas</b> (ザルテン アレクサンダー ニコラス)  ハーバード大学 東アジア言語文明学部 准教授	日本における「アマチュア」メディア文化 の過去と未来	アメリカ	【短期・後期】 2018年3月1日～ 2018年8月31日	早稲田大学
<b>SHIRANE Haruo</b> (シラネ ハルオ)  コロンビア大学 東アジア言語文化学部 学部長/教授(日本文学・日本文化)	メディア・芸能・民衆文化 - 日本文学の脱中心化 -	アメリカ	【短期・後期】 2018年3月1日～ 2018年8月31日	早稲田大学
<b>HELLYER Robert Ingels</b> (ヘリヤー ロバート インガルズ)  ウェイク・フォレスト大学 歴史学科 准教授	1850年代～1950年代、日本茶輸出の グローバル・ヒストリー - 生産から消費までの担い手に関する 社会経済史的考察 -	アメリカ	【短期・後期】 2018年4月1日～ 2018年8月31日	国際日本文化 研究センター
<b>KHOMENKO Olga</b> (ホメンコ オリガ)  キエフモヒーラアカデミー国立大学 人文学部歴史学科 准教授	幸せを求めて -戦後日本の婦人雑誌広告と女性-	ウクライナ	【短期・後期】 2018年3月1日～ 2018年8月31日	東京外国語 大学
<b>洪 善英</b> (ホン ソンヨン)  翰林大学 日本学研究所 研究教授	1910年代の劇場形態の韓日比較研究	韓国	【長期】 2017年9月1日～ 2018年8月31日	国際日本文化 研究センター
<b>梁 青</b> (リョウ セイ)  廈門大学外文学院 講師	古今集前夜における日本漢詩の和様化 - 島田忠臣と菅原道真を中心に -	中国	【長期】 2017年9月1日～ 2018年8月31日	東京外国語 大学